



風の子 太陽の子

学校だより 第10号

浜松市立相生小学校

令和6年11月25日

自分からあいさつができる子供たちに

校長 小林 延和

過日の運動会へは保護者の皆様の御出席をいただき、ありがとうございました。

子供たちは存分に練習の成果を発揮して、力いっぱい演技する姿を見せてくれました。学級や学年、学年団でそれぞれ心をひとつに、協力してがんばる姿に感動をもらうことができました。保護者の皆様の応援、御協力ありがとうございました。

引き続き、学校では充実の秋を目指して、教育活動を進めてまいりたいと思います。今後、御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

さて、先日、朝会で子供たちに『あいさつについて』の話をしました。

私は、毎朝正門や北門で子供たちの登校の様子を見守っています。残念ながら、自分から明るい声であいさつをしてくれる子は、ほんのわずかです。ほとんどの子供は、あいさつをされてから、返してくれます。そして、朝だからなのか、とても小さな声で、元気がない子供が多いと感じています。

私は、「あいさつは人と人をつなぐコミュニケーションの第一歩」だと思っています。人は一人では生きていけません。いろいろな人と繋がっていくことで生活しています。そして人と繋がるためには、話をするのが大切です。その第一歩として、自分から明るい声であいさつができる子になってほしいと思っています。

学校運営協議会でも、あいさつについて話が出ることが多いです。大人からもあいさつだけでなく、声を掛けていくことの大切さを感じています。相生小学校では、自分から明るい声であいさつができる児童を育成することを目標の一つとして、教育活動を進めています。御家庭でも、子供たちにお声掛けいただけますようお願いいたします。



11月12日 ひとりひとりにいい声かけデーでのあいさつ運動



浜松市立相生小学校

キャリア教育を
推進しています。